

様式第2号（第5条第3項）

平成26年度茨城県自殺防止対策モデル事業採択団体一覧表

	応募団体名 代表者名	所 在 市町村	事業の概要
1	さざれの集い 茨城わかちあいの会 代表：大森	水戸市	「自死遺族同士のわかちあいや自死遺族理解のための啓発」 ①自死遺族集会の開催（さざれの集い） 遺族同士の感情の共有を行い、後追い等の自殺予防に努める。 ②自死遺族会全国大会への参加 情報収集や事業展開の検討を行うことにより、対策の強化を図る。
2	公益社団法人 認知症の人と家族 の会茨城県支部 代表：宮原節子	つくば市	「認知症の人を介護している家族や本人を対象とする電話相談」 認知症患者の介護家族等を対象に、認知症介護の経験者等を中心とする相談員が、時間帯を設定して電話相談サービスを提供し、心のケアを図る。
3	認定特定非営利活動法人 いばらき子どもの虐待防 止ネットワークあい 理事長：坂本博之	水戸市	「オレンジライン事業」 オレンジライン 電話相談の専門スタッフ2名が常駐し電話相談 (毎週月・水・木曜日の3日間, 10:00~15:00)
4	一般社団法人 茨城県助産師会 代表：工藤登志子	那珂市	「助産師なんでも電話相談」 ①助産師なんでも電話相談 相談員（助産師）による電話相談の実施（平日10:00~15:00） ②電話相談研修会 育児不安のある母親に対して電話相談を行う際の対応方法について研修を実施
5	特定非営利活動法人 まちなか交友館まどか 代表：渡辺隆生	つくば市	「認知症高齢者の家族介護者に対するこころの健康支援事業」 ①居場所づくり 平日9:30~15:30の間、自由に入出入り可能なスペースを設け、専従の介護福祉士等が、認知症患者本人や家族の悩みを傾聴、支援する他、家族同士の悩みや経験を共有できるようピアカウンセリングを実施。 ②電話・メール相談 平日9:30~15:30の間、専用電話及びファックスによる相談を行う。また、上記時間帯以外での相談についてもメールで対応。
6	一般社団法人 日本産業カウンセラー協会 東関東支部 支部長：橋本武雄	ひたちなか市	「茨城無料カウンセリング」 茨城事務所（ひたちなか市）において、毎月1回（日曜日）、10時~17時に実施。 相談時間は概ね1時間弱。産業カウンセラーが対応。

	応募団体名 代表者名	所 在 市町村	事業の概要
7	特定非営利活動法人 元気UPヒアリングセン ター 代表：平塚和史	下妻市	「メンタルガイド養成事業」 ①メンタルガイド研修会の開催 うつ病や自殺のない健全な地域社会を作るために、研修会を開催し、うつ病や自殺の抑止力となり得る人材（メンタルガイド）を養成する。 ②スキルアップ研修 メンタルガイド研修受講者を対象に電話相談研修や事例をテーマにしたロールプレイ研修を実施し、スキルアップを図る。
8	特定非営利活動法人 水戸こどもの劇場 代表：森田多美子	水戸市	「エンパワメントワークショップと研修会・講演会の開催」 ①心を育てるワークショップ ファシリテーター（中立的な立場でプログラムを進行する人）を中心に、自分のこと等何でも自由に話し合い、自己肯定感を高めるワークショップを開催。 ②社会復帰実践ワークショップ 何かを作ったり、手伝えることでさらに自己肯定感を育むワークショップを開催。 ③研修会の開催 課題ごとにゲストを招き、課題解決に向かっていくためのスキルアップや、自己肯定感を高めるための勉強会を開催。 ④講演会の開催 人との関わり方など自己肯定感を高めるための講演会を開催。
9	日立モラロジー事務所 代表：松浦祐太郎	ひたちなか市	「グリーフケアの普及講演会と「死別の痛みの分かち合いの会」を立ち上げる基盤作りのワークショップの開催」 グリーフケア（近い人を亡くした人がその悲嘆を乗り越えようとする心の努力を支援すること）の考え方を知ってもらうための講演会と「死別の痛みの分かち合いの会」を実施して、地域で「死別の痛みの分かち合いの会」を立ち上げる基盤作りを行う。
10	特定非営利活動法人 茨城県断酒つくばね会 代表：高橋幸夫	土浦市	「酒害啓発のための市民公開セミナーの開催」 専門医による講演、酒害体験者の体験談発表によるセミナーを開催し、アルコール起因による酒害者根絶推進への市民活動を実施する。また、セミナーと併せて酒害相談会を実施する。
11	社会福祉法人 かすみがうら市社会福祉 協議会 会長：宮嶋光昭	かすみがうら市	「STOP自殺 ゲートキーパー普及講演会の開催」 「ゲートキーパー」とは何か、どのような活動かについて知ってもらい、地域の中の出来事、人と人との関わりに無関心にならず、「ともに生き みんなと住み続けたい 思いやりのまちづくり」のために啓発を行う。
計 13 団体			